

県土の発展と県民の安全・安心に資する道路整備の推進

➤ 災害脆弱性とインフラ老朽化を克服し強靱で信頼性の高い道路ネットワークを構築。

【提案・要望先】財務省、国土交通省

1. 提案・要望内容

(1) 県土の発展を支える道路整備の推進

- 防災・減災、国土強靱化の推進
- 5か年対策プログラムで令和7年秋開通予定とされた直轄事業工区の早期開通
- 名神名阪連絡道路の調査への財政支援および計画の具体化に向けた一層の連携
- 「滋賀・京都間の新しい国道1号バイパス」の計画段階評価の早期着手
- 国道8号彦根・東近江間バイパスの早期事業化
- 国道365号栃ノ木峠道路の直轄権限代行に向けた直轄調査の実施および早期事業化

(2) 安全・安心や賑わいを創出する道路整備の推進

- 大雪時の円滑な交通確保に向けた財政支援
- 道路インフラ施設の予防保全を基本とした維持管理への転換
- 「いのち」を守る道路環境の形成のための財政支援
- ナショナルサイクルルート「ビワイチ」整備推進のための財政支援
- TEC-FORCE等を含む地方整備局の体制の充実・強化および資機材の更なる確保

2. 提案・要望の理由

(1) 県土の発展を支える道路整備の推進

- 防災・減災、国土強靱化5か年加速化対策については、残る期間における予算・財源の確実な確保が必要。さらに、改正国土強靱化基本法を踏まえ、対策期間完了後においても、国土強靱化に必要な予算・財源の継続的・安定的な確保が必要。
- 激甚化・頻発化する災害に備えるとともに、人や物の円滑な移動を確保するため、令和7年秋開通予定箇所の1日も早い開通が必要。
- 名神名阪連絡道路は、約30kmの高規格道路であり、重要物流道路の計画区間に指定されている。高規格道路の迂回や物流の定時性・安定性の確保のため、調査への財政支援およびルート帯の決定など計画の具体化に向け、国・三重県と一層の連携が必要。
- 「滋賀・京都間の新しい国道1号バイパス」は、国道1号栗東水口道路等の開通後を見据え、調査やバイパス計画の策定を推進し、計画段階評価の早期着手が必要。
- 国道8号彦根・東近江間は、渋滞箇所や事故危険区間が存在しており、安定的な物流の確保や地域住民の安全確保のため、バイパスの早期事業化が必要。
- 国道365号栃ノ木峠道路は、脆弱な地質でのトンネル工事が想定され、国の高度な技術力が不可欠であり、直轄権限代行に向けた直轄調査の実施および早期事業化が必要。

(2) 安全・安心や賑わいを創出する道路整備の推進

- 大雪時の円滑な交通確保に向け、除雪機械等の安定した稼働が重要であり、老朽化している雪寒用建設機械を計画的に更新できるよう重点的な財政支援が必要。
- 道路インフラ施設の老朽化対策を着実に進めるため、道路メンテナンス事業補助による財政支援が必要。
- 通学路の安全を早急に確保するため、歩道整備などの安全対策を計画的かつ集中的に推進できるよう継続的な財政支援が必要。
- 世界に誇るナショナルサイクルルート「ビワイチ」の更なる地域ブランド価値向上に向け、国内外のサイクリストへのサービス水準を高める通行空間や案内標識等の整備推進に対する重点的な財政支援が必要。

(本県の取組状況と課題)

(1) 県土の発展を支える道路整備の推進

● 防災・減災、国土強靱化の推進

- 3か年緊急対策・5か年加速化対策により**強靱な道路ネットワーク整備が加速**
 整備例：国道421号（東近江市：佐目バイパス）



～国土強靱化予算を活用～

橋梁が2年前倒しで完成

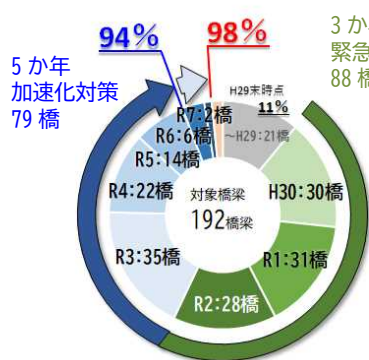
早期供用に向け
更なる予算措置を！

上段：当初計画 下段：実施

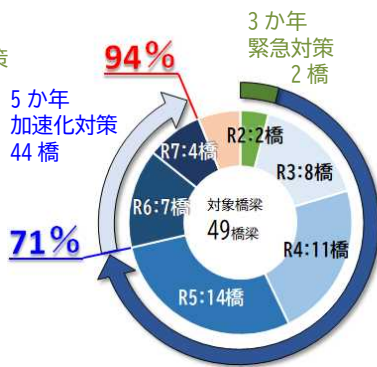
	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
橋梁下部工事			[Yellow bar]						
橋梁上部工事					[Yellow bar]				
舗装工事 交通安全対策 等							[Yellow bar]		

- 3か年緊急対策・5か年加速化対策により**防災・老朽化対策が加速**
 整備例：主要地方道彦根近江八幡線（彦根市～東近江市：愛知川橋）

橋梁メンテナンス事業



1 巡目点検 (H26-H30)
判定Ⅲ・Ⅳの橋梁数



2 巡目点検 (R1-R4)
判定Ⅲ・Ⅳの橋梁数



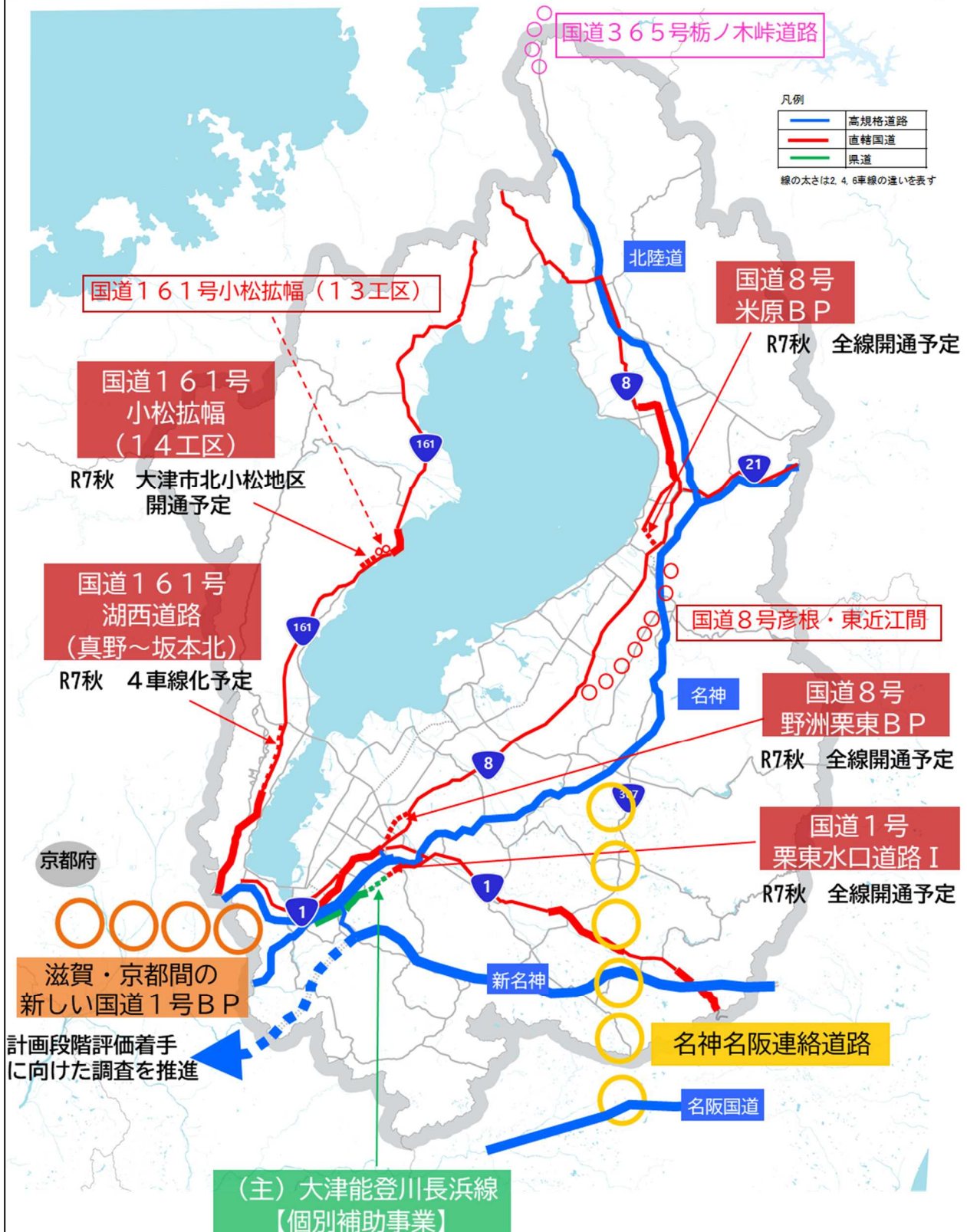
～国土強靱化予算を活用～

1 巡目点検で判定Ⅲ・Ⅳ橋梁の対策が R7 年度末には概成予定 (98%)

2 巡目点検では新たに 49 橋がⅢ判定
予防保全への転換に向け更なる予算措置を！

(本県の取組状況と課題)

● 5か年対策プログラムで令和7年秋開通予定とされた直轄事業工区の早期開通



人や物の円滑な移動確保に向け直轄事業工区の早期開通を！

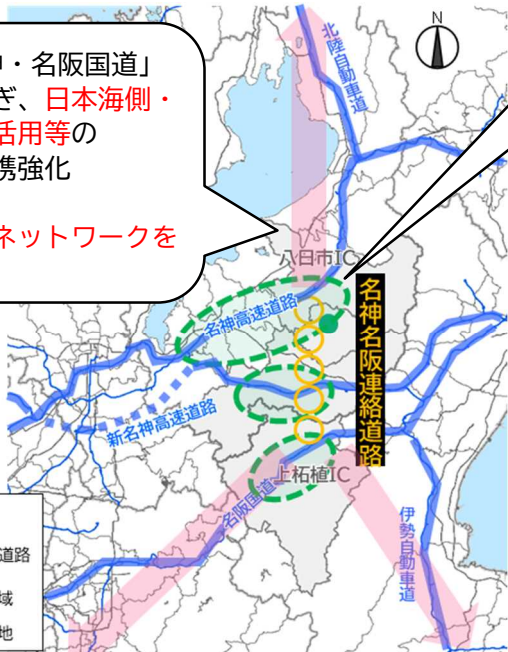
(本県の取組状況と課題)

● 名神名阪連絡道路の調査への財政支援および計画の具体化に向けた一層の連携

・「名神・新名神・名阪国道」を南北につなぎ、**日本海側・太平洋側二面活用等**の広域圏間の連携強化

・全国的な**物流ネットワークを補完・強化**

- 凡例
- 名神名阪連絡道路
 - 工場集積地域
 - 日野工業団地



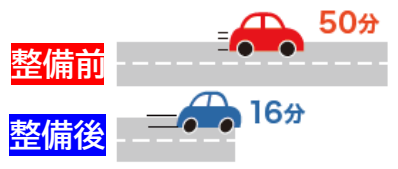
・沿線企業の**物流円滑化**

地域課題



日野工業団地～名阪国道(上柘植IC)
所要時間 **34分短縮**

整備効果



財政支援および計画の具体化に向けた一層の連携を！

● 「滋賀・京都間の新しい国道1号バイパス」の計画段階評価の早期着手

- 国道1号(滋賀・京都間)は大雨などにより**過去10年で7回通行止め**
- 令和5年1月の大雪では**スタック車両が28台発生**



地域課題

課題解決に向け計画段階評価の早期着手を！

● 国道8号彦根・東近江間バイパスの早期事業化

- **都市計画・環境影響評価**の手続き中

地域課題



課題解決に向け早期事業化を！

(本県の取組状況と課題)

● 国道 365 号栃ノ木峠道路の直轄権限代行に向けた直轄調査の実施および早期事業化

- 令和 5 年 3 月 有識者委員会でルート of 妥当性を確認
- 令和 5 年度 滋賀県・福井県で **ルート of 妥当性検証に向けた地質調査を実施中**
(有識者委員会で結果確認予定)

地域課題



冬季通行止め (5 か月間/年)

R4.8 大雨で北陸道、国道 8 号・365 号が同時通行止め



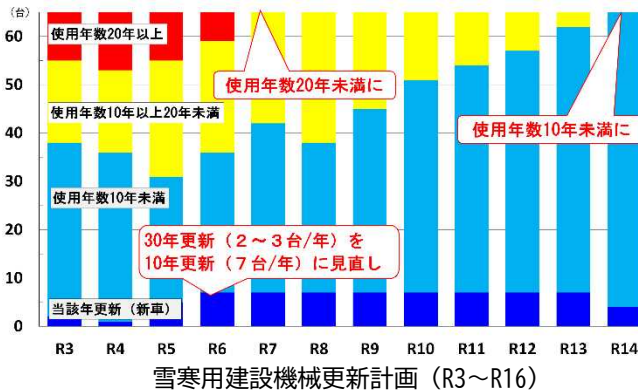
直轄権限代行による早期事業化に向け直轄調査の実施を!

(2) 安全・安心や賑わいを創出する道路整備の推進

● 大雪時の円滑な交通確保に向けた財政支援

- 雪寒用建設機械 65 台の約 4 割が購入後 10 年 (耐用年数) を経過
- 近年の大雪により稼働日数が増加。計画的な更新が課題
- 年間 7 台更新により令和 14 年には全ての雪寒用建設機械が使用年数 10 年未満に

地域課題



雪寒用建設機械の損傷状況 (除雪ロータリー (購入後 25 年))



雪寒用建設機械の計画的な更新に更なる予算措置を!

● 道路インフラ施設の予防保全を基本とした維持管理への転換

- 事後保全から予防保全への転換には、現状の進捗では 6 年が必要

橋梁修繕状況 (H26~R4) 【県管理橋梁: 3,064 橋】 (橋)

	Ⅲ判定	Ⅳ判定	計	措置完了	措置未完了
1巡目点検 (H26~H30)	191	1	192	167	25
2巡目点検 (R1~R4)	49	0	49	21	28
計	240	1	241	188	53



修繕 (塗装塗替) 状況 【彦根米原線 (米原跨線橋)】

地域課題

【実績】

- ① 措置数 : 約 21 橋/年
- ② Ⅲ・Ⅳ判定確認数 : 約 12 橋/年
- Ⅲ・Ⅳ判定減少数 (①-②) : 約 9 橋/年

53 橋 ÷ 9 橋/年
→ 6 年が必要



点検状況 【国道 421 号 (石樽トンネル)】

予防保全への転換に向け更なる予算措置を!

(本県の取組状況と課題)

● 「いのち」を守る道路環境の形成のための財政支援

- 子どもの「いのち」を守るため、**通学路の安全確保が課題**
- 速度超過車両や通過交通の流入により生活道路の安全が脅かされている

◆通学路の安全対策

【対策状況】

対策前



対策後



歩道設置
(踏切幅含む)

川合千田線 (長浜市)

【事業箇所】



歩道設置

間田長浜線 (米原市)

◆生活道路の安全対策

【対策状況】

対策前



対策後



凸おひ
ハンプ、狭さく

市道 (栗東市)

【事業箇所】



狭さく設置

市道 (近江八幡市)

通学路および生活道路の安全対策に更なる予算措置を！

● ナショナルサイクルルート「ビワイチ」整備推進のための財政支援

- 令和4年度までに低速コース 99 km整備が完成
- **令和5年～8年度で上級コース 16 kmを整備**
- 国内外に向けた日本のサイクルツーリズムの魅力発信 ALL JAPAN の情報発信が必要



上級コースの整備状況
スポーツサイクリング等



低速コースの整備状況
家族連れでゆっくりサイクリング

◆ 情報発信の取組状況



R5.3
世界旅行博
(ウィーン) 出展



R5.4
サイクルモード
TOKYO2023 出展



R5.5
自転車連
「青空総会」出展

「ビワイチ」整備に更なる予算措置を！